

新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム(第5回会合) 議事要旨

1 日時

平成 22 年 4 月 9 日(金) 13 時 00 分－14 時 30 分

2 場所

三田共用会議所 講堂

3 出席者(敬称略)

(構成員:50 音順、敬称略)

木村太郎、後藤幹雄、東倉洋一、土居範久、所眞理雄、中村伊知哉、藤原洋、三友仁志、森川博之

(総務省)

内藤総務副大臣、桜井総合通信基盤局長、吉田電波部長、久保田審議官、山田総合通信基盤局総務課長、渡辺電波政策課長

(事務局)

電波政策課

4 配布資料

資料5-1 (株)湘南ベルマーレ資料

資料5-2 (株)TBSテレビ資料(構成員限り)

資料5-3 (株)テレビ神奈川資料

資料5-4 (株)トマデジ

資料5-5 日本空港ビルデング(株)

参考資料1 新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム(第4回)議事要旨(案)

参考資料2 電波の有効利用に関する国際シンポジウム議事要旨(案)

5 議事概要

(1) 開会

(2) 内藤副大臣 開会挨拶

○ 検討チームでは、ホワイトスペースの活用など今後の電波の有効利用に向けた検討の一環として、昨年 12 月から今年 1 月まで、ホワイトスペースの活用方策等について提案募集を実施し、その結果、50 者以上の方から 100 件以上もの提案をいただいた。提案いただいた内容は、エリアワンセグやデジタルサイネージを活用したものが多く、いずれも、魅力あるまちづくりや地域雇用の創出などの社会的効果、経済的効果が期待できるとしている。

そこで、検討チームでは、提案いただいた方々の中から 17 者にご出席いただき、提案内容の詳細を直接伺う場として、公開ヒアリングを本日より3回にわたり開催したいと考えたもの。この 17 者は、提案内容がビジネスとしての確立可能性、また、地域活性化など社会的、経済的効果などが期待できるものであるか、という観点から、検討チームの土居座長と相談して決定した。

公開ヒアリングでは、提案者の方々と忌憚のない意見交換を行いたいと考えており、①提案

モデルの確立可能性、②経済的、社会的効果など提案モデルの効果、③実現のために検討制度的・技術的課題などについてご意見を伺い、今後の検討に反映させていきたい。

(3) 公開ヒアリング

各提案者からのプレゼンテーション

- (株)湘南ベルマーレより、スポーツ交流を活かした情報サービスをエリアワンセグにより実現し、地域活性化を目指すとのプレゼンテーションが行われた。
- (株)TBSテレビより、「赤坂サカスプロジェクト」と題して、赤坂の商店街など地域ぐるみの情報配信を行うことにより、地域の創富力を高め、このモデルを全国に展開したいとのプレゼンテーションが行われた。
- (株)テレビ神奈川より、若手の活力と大学が持つネットワークを活用して、番組制作体制のモデル化を図り、地域の魅力創造・地域を元気にするカレッジ・ワンセグ放送局についてプレゼンテーションが行われた。
- (株)トマデジより、日本全国に張り巡らされる放送網と交通網(鉄道網)を連携させて駅ナカ情報や地域情報を配信する ICT-Transport 連携サービスについてプレゼンテーションが行われた。
- 日本空港ビルディング(株)より、空港でエリアワンセグにより、目的地の情報や特産品情報、e-commerce などを提供し、地方空港と周辺地域の活性化を目指す空港連携ワンセグ・サービスによる地域振興に資する事業・サービスモデル(来日旅行者の地方への送客機能を伴う)についてプレゼンテーションが行われた。

質疑応答・意見交換

- 上記プレゼンテーションに対して行われた主な質疑は以下のとおり。なお、会合の場で回答されなかった質問については、後日書面により回答されることとなった。
 - ・ 利用シーンが目に浮かばないものが多い。具体的なサービスの提供場所、サービス対象客、サービス提供内容がよく分からなかった。具体的なサービスイメージを教えて欲しい。
 - ・ スマートフォンのような高度化した端末が普及し、移動通信が高速化している状況では、ホワイトスペースを活用したシステムに対して、見込まれるユーザーがあるのか、それほど多くはないのではないか。このような既存の通信ネットワークがあるにもかかわらず、ホワイトスペースとして放送波を使う必要性がよく分からなかったので教えて欲しい。
 - ・ 提案されたサービスに関して、システムの運営費用やコンテンツ制作費用等のコストをどのようにペイさせるのか収支構造を教えて欲しい。
 - ・ TBSさんからは、赤坂サカスを中心とした赤坂界隈の活性化という観点から、ホワイトスペース活用の提案があったが、この提案は地方の活性化に繋がるものなのか。赤坂で成功したモデルがあったとしても、赤坂という都会で利用されたから成功したのではないか。赤坂のモデルを単純に全国展開しても成功するとは限らない。
 - ・ エリアワンセグプロジェクトを各地の系列局で実施しているところであり、今後は、その結果を情報共有して、各地の特徴に合ったコンテンツなどを提供し、全国展開を行っていく予定である。(TBS)

- ・ 提案されたサービスに関して、具体的にどのコンテンツをどの端末に配信するのか、メディアの使い分けについて教えて欲しい。
- ・ ホワイトスペースを利用した新たなサービスの実行にあたり、携帯電話等の既存の周波数帯ではなく、ホワイトスペースの周波数帯の利用を希望する理由を教えて欲しい。
- ・ 提案されたビジネスイメージは、既存事業の延長もしくは付属に見える。ホワイトスペースの利用が、新たな価値の創出にどうつながるかを教えて欲しい。そのことが、地域活性化にも関わってくるのではないか。
- ・ 提案されたサービスを実現するために検討すべき技術的、制度的課題について教えて欲しい。

以 上